

# モンゴル経済概況

---

2021年3月  
日本貿易振興機構（ジェトロ）  
海外調査部

## 【免責条項】

本資料で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本資料で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

**禁無断転載**

# 目次

---

- 1-1. モンゴルの基礎データ
- 1-2. 2020年の主要経済指標
- 2. 新型コロナウイルスの感染状況
- 3. 最近の政治経済動向①
- 3. 最近の政治経済動向②
- 4. GDP成長率の推移
- 5. 貿易の推移
- 6. 名目鉱工業生産の推移
- 7. 貨物輸送量
- 8. 物価(インフレ率)
- 9. 歳入・歳出の推移
- 10. 貸出残高
- 11. 貸出金利
- 12. M2の推移
- 13. 対ドル・対円の為替レート
- 14. 外貨準備高
- 15. 主要輸出入品目
- 16. 主要輸出相手国
- 17. 主要輸入相手国
- 18. 主要国・地域別直接投資額
- 19. 主要国・地域別投資企業数
- 20. 主要業種別投資企業数
- 21. 日本からの直接投資①
- 21. 日本からの直接投資②
- 22. 日本との貿易概況
- 23. 日モEPAの実績①
- 23. 日モEPAの実績②

# 1-1. モンゴルの基礎データ

---

国名：モンゴル国

面積：156万4,100平方キロメートル

人口：329万6,866人(2019年末現在)

首都：ウランバートル

民族：モンゴル人（全体の95%）およびカザフ人等

言語：モンゴル語（公用語）、カザフ語

宗教：チベット仏教等（1992年2月施行の新憲法は信教の自由を保障）

政体：共和制（大統領制と議院内閣制の併用）

行政区分：21県と1特別行政区

通貨：トゥグルク（100トゥグルク=約3.67円）

（2021年2月1日現在）

# 1-2. 2020年の主要経済指標

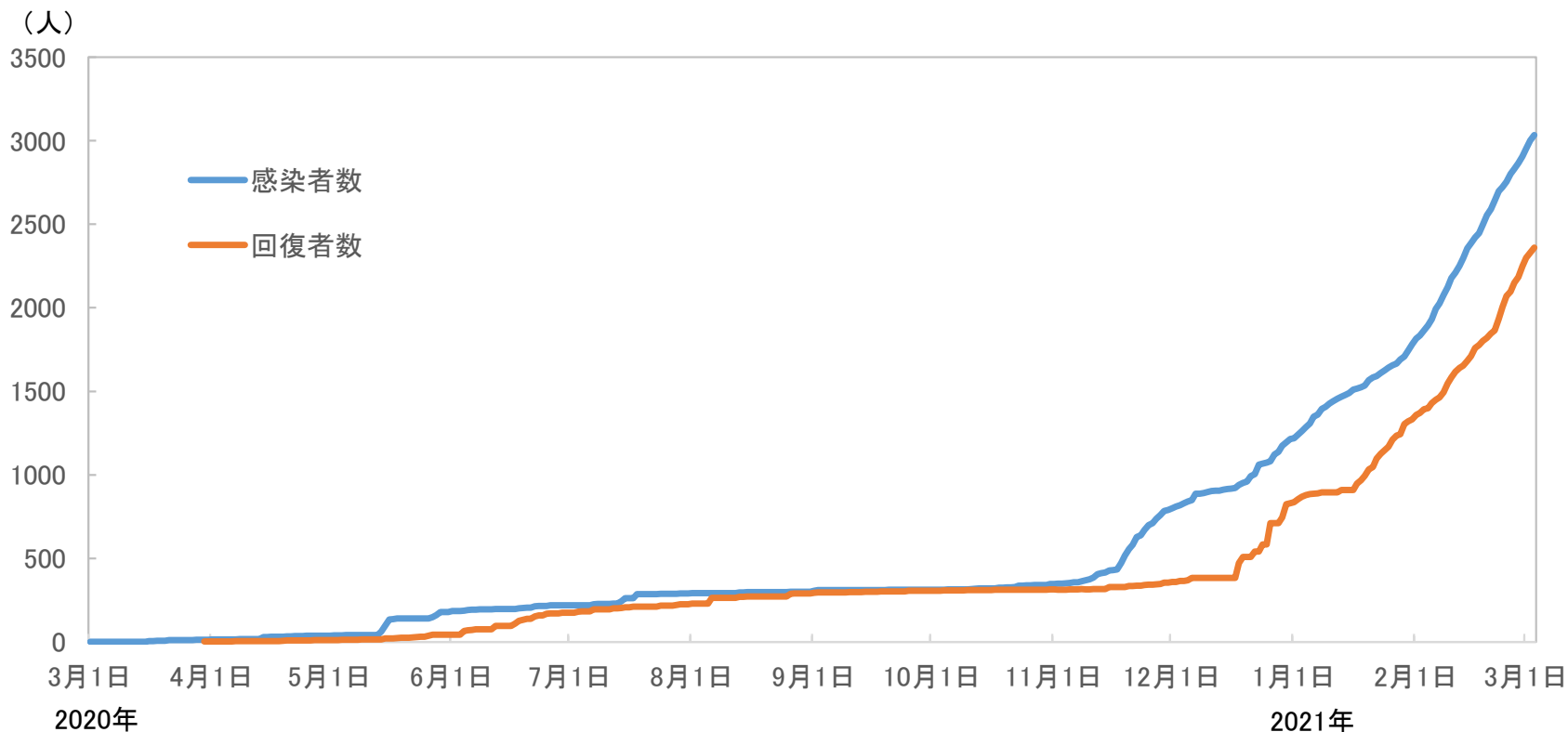
2020年のモンゴル経済は、新型コロナウイルスの感染予防のために国境を封鎖したことにより、貿易および鉱工業生産が減少し、マイナス成長となった。また景気の悪化により財政赤字は拡大した。

なお、モンゴル銀行は11月23日に政策金利を年6.0%に引き下げた。

指標	単位	金額	前年同期比(%)
実質GDP成長率	%	-	△5.3
名目GDP	兆トゥグルク	37.0	△0.9
貿易額	億ドル	128.7	△6.4
輸出額	億ドル	75.8	△0.6
輸入額	億ドル	52.9	△13.6
鉱工業生産額	兆トゥグルク	16.5	△7.3
インフレ率(12月)	-	-	2.3
財政収支	兆トゥグルク	△4.5	-
貸出残高(12月末)	兆トゥグルク	17.2	△4.9
M2(12月末)	兆トゥグルク	24.2	16.3
対ドルレート(12月平均)	トゥグルク	2,850	-
対円レート(12月平均)	トゥグルク	27.5	-
外貨準備高(12月末)	億ドル	45.3	4.3

## 2. 新型コロナウイルスの感染状況

2021年3月3日時点のモンゴルにおける新型コロナウイルスの累計感染者数は3,033人(うち治療中669名、回復2,360名、死者4名、本国に帰国した外国人9名)である。政府は旧正月期間中の感染拡大を予防するため、2月11日から23日まで警戒レベルを「全国警戒態勢」に引き上げ、3度目の外出禁止令を発令した。2月23日からは新型コロナウイルスワクチン接種が開始された。



出所: モンゴル保健省

# 3.最近の政治経済動向①

## オヨーンエルデネ新内閣が発足

2021年1月27日にオヨーンエルデネ新首相が就任した。(1月29日付ビジネス短信参照)

新首相は1月29日に新閣僚16人を任命し、オヨーンエルデネ内閣が発足した。閣僚は以下の通り。

1.副首相	S.アマルサイハン*2	9.建設・都市計画大臣	B.ムンフバータル*1
2.内閣官房長官	Ts.ニヤムドルジ	10.教育・科学大臣	L.エンフアムガラン*2
3.自然環境・観光大臣	N.オルトナサン*3	11.道路・運輸開発大臣	L.ハルタル*1
4.国防大臣	G.サイハンバヤル*1	12.文化大臣	Ch.ノミン*3
5.外務大臣	B.バトツェツェグ*3	13.鉱業・重工業大臣	G.ヨンドン*1
6.大蔵大臣	B.ジャブフラン*2	14.食糧・農牧業・軽工業大臣	Z.メンドサイハン*1
7.法務・内務大臣	Kh.ニヤムバータル*1,*2	15.エネルギー大臣	N.タビンベフ*1
8.労働・社会保障大臣	A.アリオンザヤー*1,*3	16.保健大臣	S.エンフボルド

注：\*1 フレルスフ前内閣からの留任、\*2 国会議員兼務、\*3 女性

出所：[モンゴル政府公式サイト](#)

# 3.最近の政治経済動向②

## 政府が10兆トゥグルク規模の医療・経済対策を発表

2月17日の閣議で、政府は10兆トゥグルク(約3,670億円)規模の医療・経済対策の実施を決定した。対策の内訳は以下の通り。

- ・中小企業向け融資に2兆トゥグルク(年利3%、貸出期間3年)
- ・若者向け職業訓練、就労機会拡大に5,000億トゥグルク
- ・若者世帯向け団地建設のためのインフラ整備、用地確保、設計、住宅ローン適用に3兆トゥグルク
- ・戦略的に重要な大型開発プロジェクトの実施に2兆トゥグルク
- ・農産品の生産、遊牧民世帯の所得水準・生活水準の向上に5,000億トゥグルク
- ・モンゴル銀行(中央銀行)のレポ取引の上限を現状の1兆トゥグルクから2兆トゥグルクに拡大  
(これにより中小企業向け融資枠を5億トゥグルクに、非鉱業製品輸出企業向け融資枠を30億トゥグルクにそれぞれ拡大する。)

政府は上記の経済対策を2023年度までに実施する予定としている。

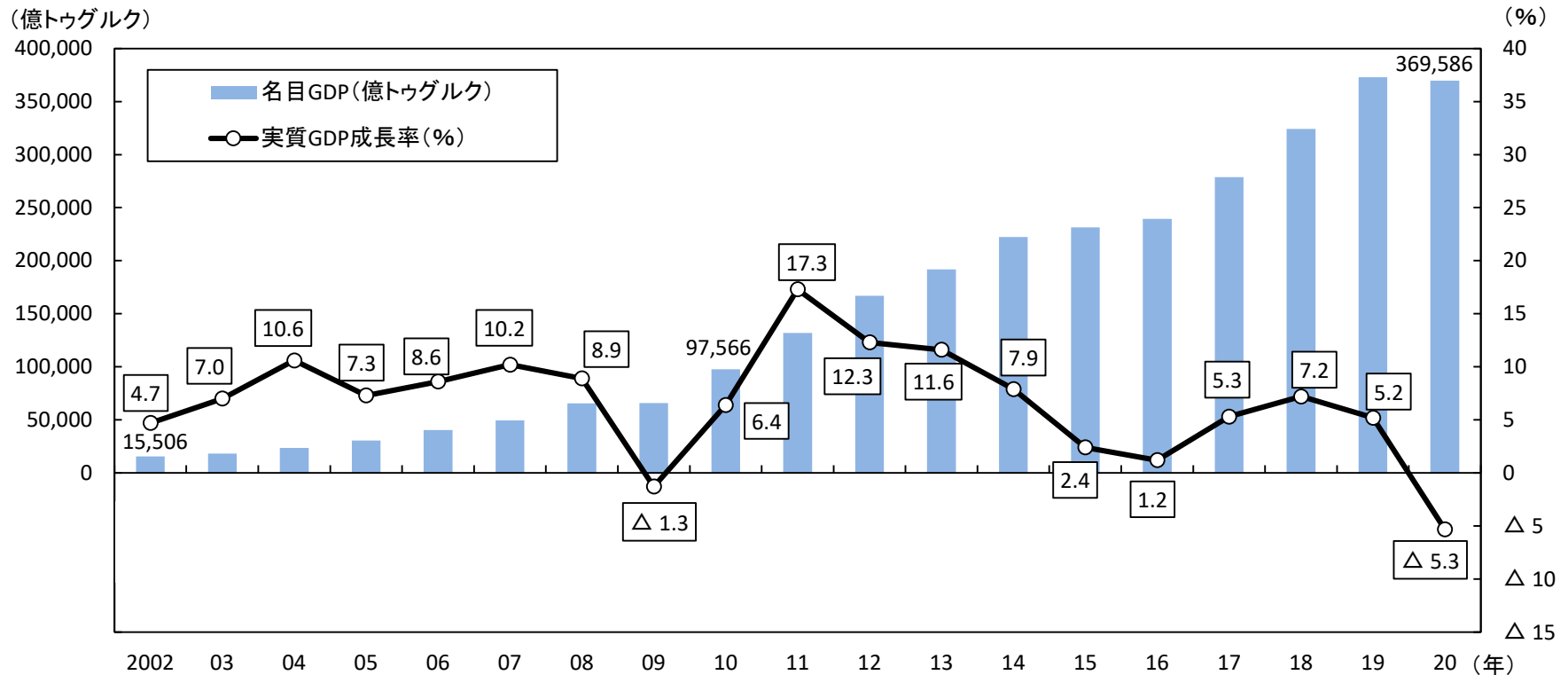
出所：[モンゴル政府公式サイト](#)



# 4.GDP成長率の推移

2020年の実質GDP成長率は前年比マイナス5.3%で、前年(5.2%)より10.5ポイント低下した。  
2020年10~12月の実質GDP成長率(季節調整済み)は前年同期比2.9%で前年同期(0.9%)より2.0ポイント上昇した。

2020年の名目GDPは前年比0.9%減の36兆9,586億トウグルクだった。

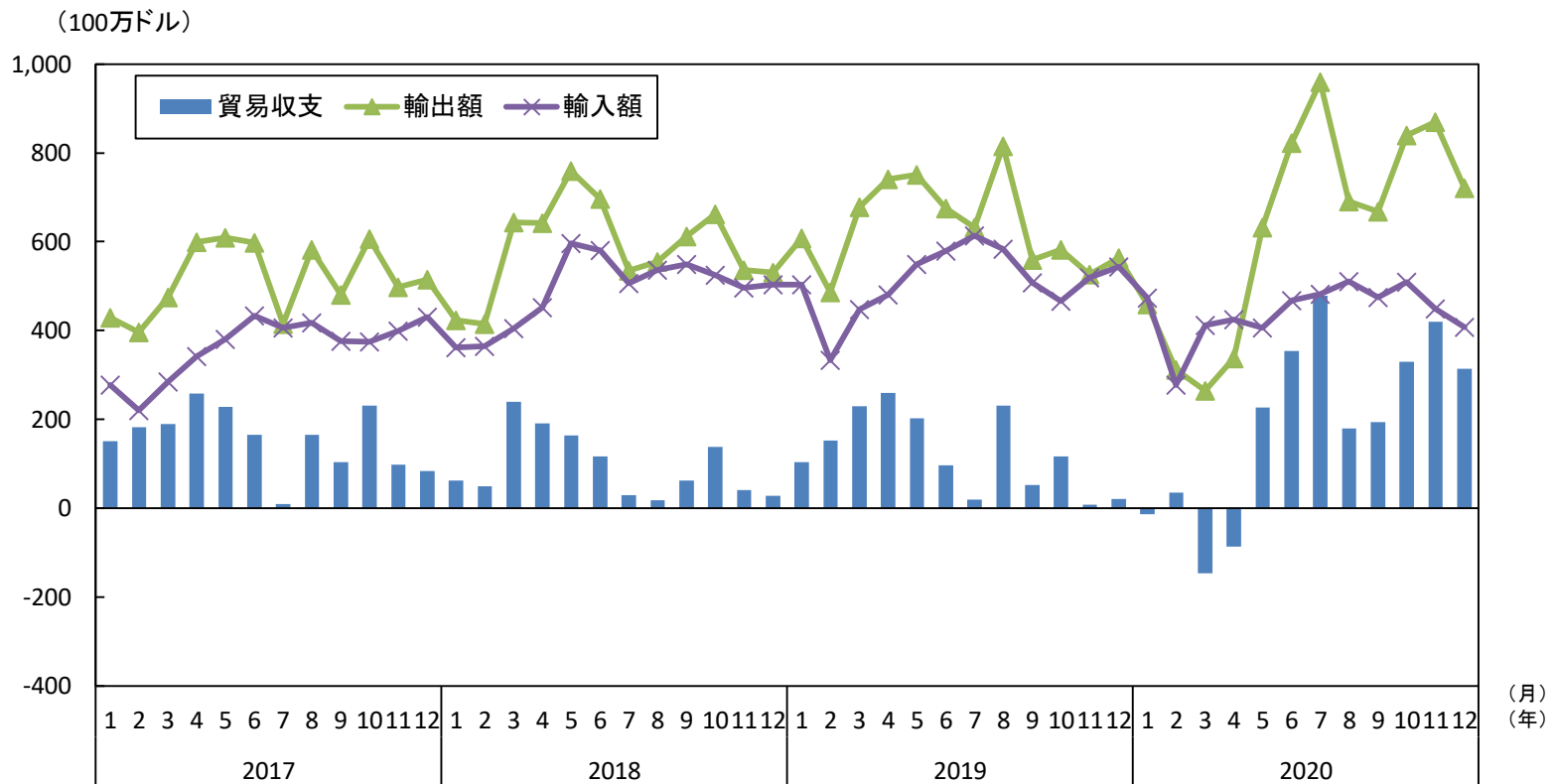


注: 2019年は暫定値、2020年は速報値

出所: 国家統計局

# 5.貿易の推移

2020年の貿易総額は、前年比6.4%減の128億7,040万ドルとなった。貿易総額のうち、輸出額は0.6%減の75億7,660万ドル、輸入額は13.6%減の52億9,390万ドルとなった。

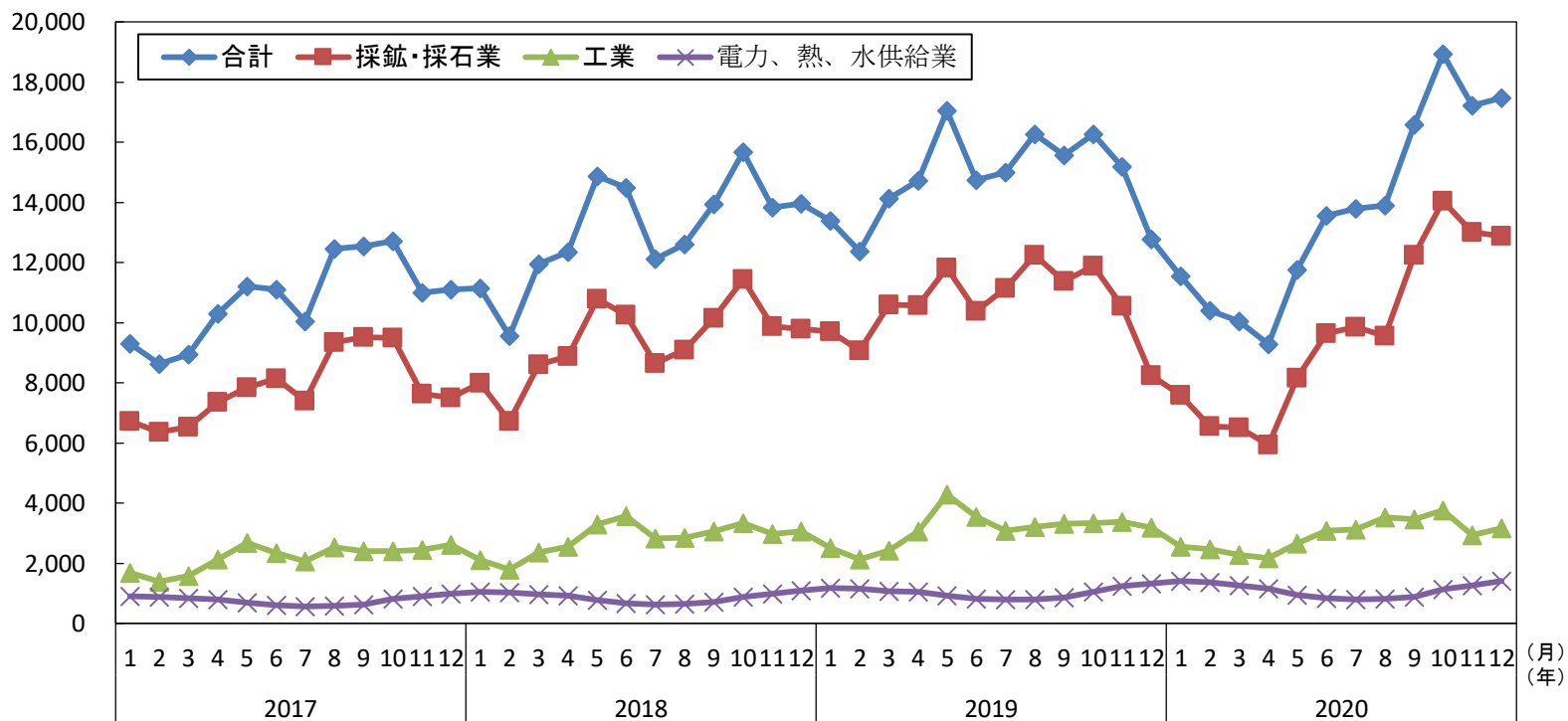


出所: 国家統計局  
注: 2020年は速報値

# 6. 名目鉱工業生産の推移

2020年の鉱工業生産額は、前年比7.3%減の16兆4,520億トウグルクとなった。採鉱・採石業の生産額が9.1%減少し、特に石炭の生産額が28.5%減と大幅減となったことが主な要因である。

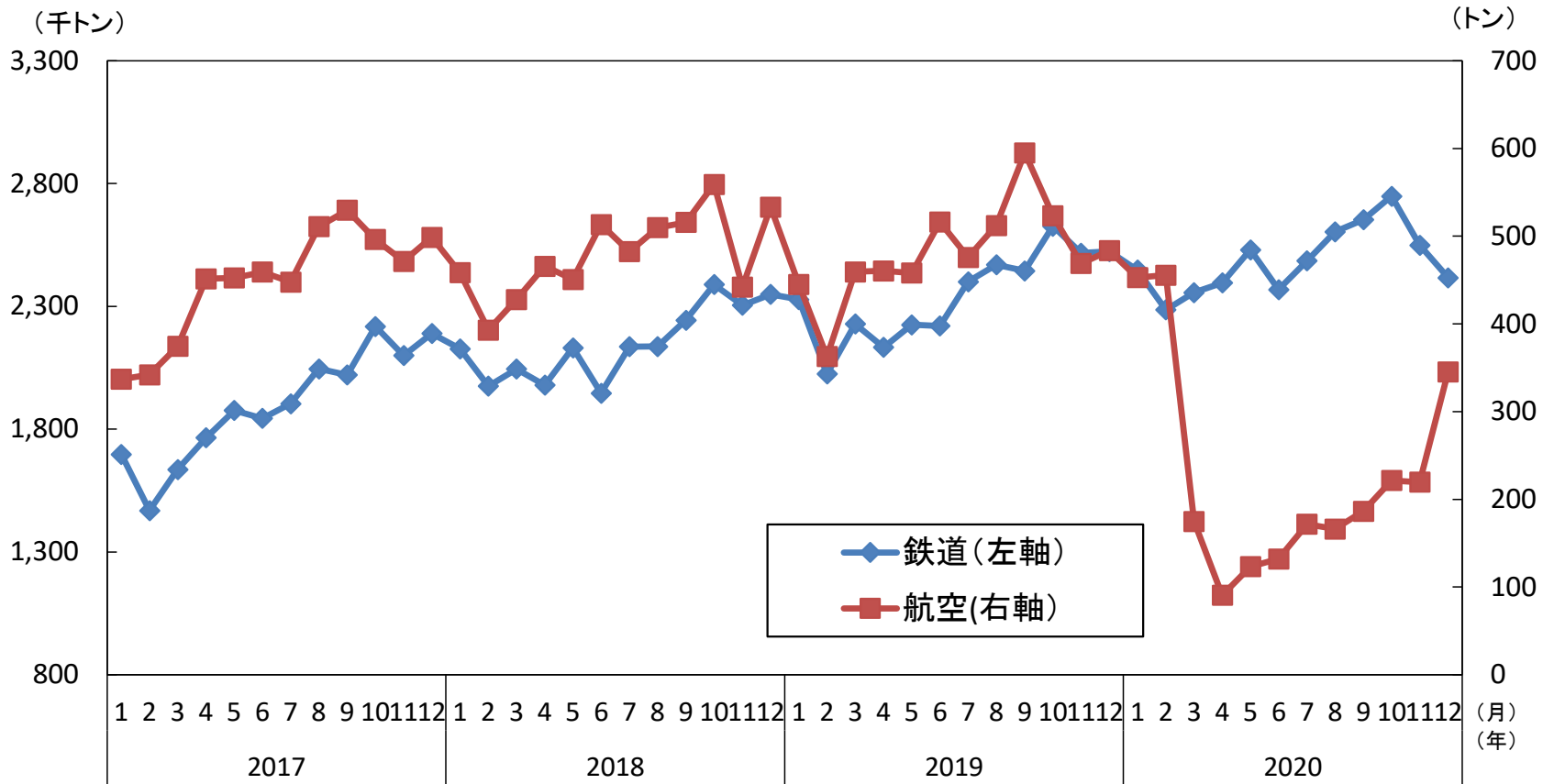
(億トウグルク)



出所: 国家統計局  
2020年は速報値

# 7.貨物輸送量

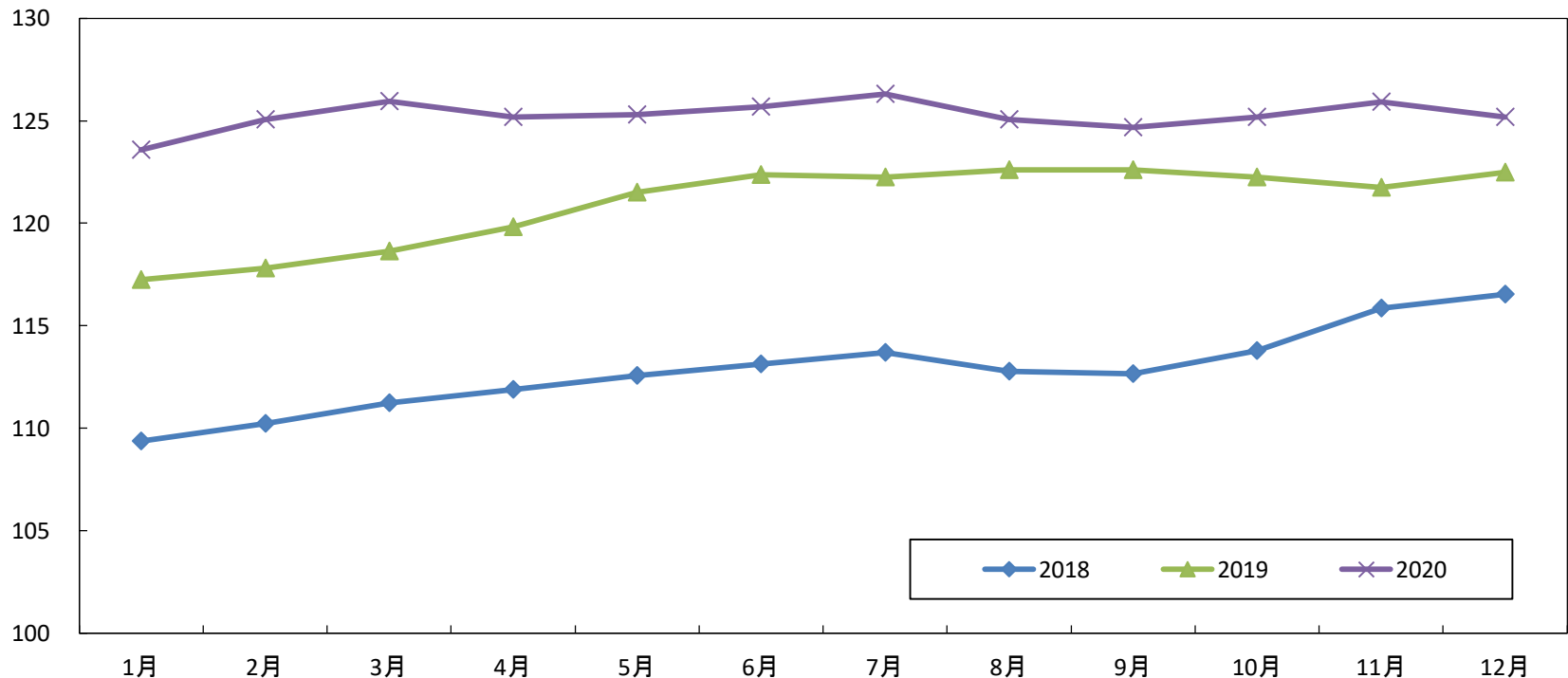
2020年の鉄道貨物輸送量は、前年比6.0%増の2,984万トン、航空貨物輸送量は、52.4%減の2,741トンだった。



出所: 国家統計局  
2020年は速報値

# 8.物価（インフレ率）

2020年12月のインフレ率（全国）は前月比0.6%下落、前年同月比2.3%上昇した。上昇の主な要因は食品・飲料（前年同月比8.5%）、アルコール飲料・タバコ（同4.2%）、衣類および履物（同3.7%）の価格上昇である。

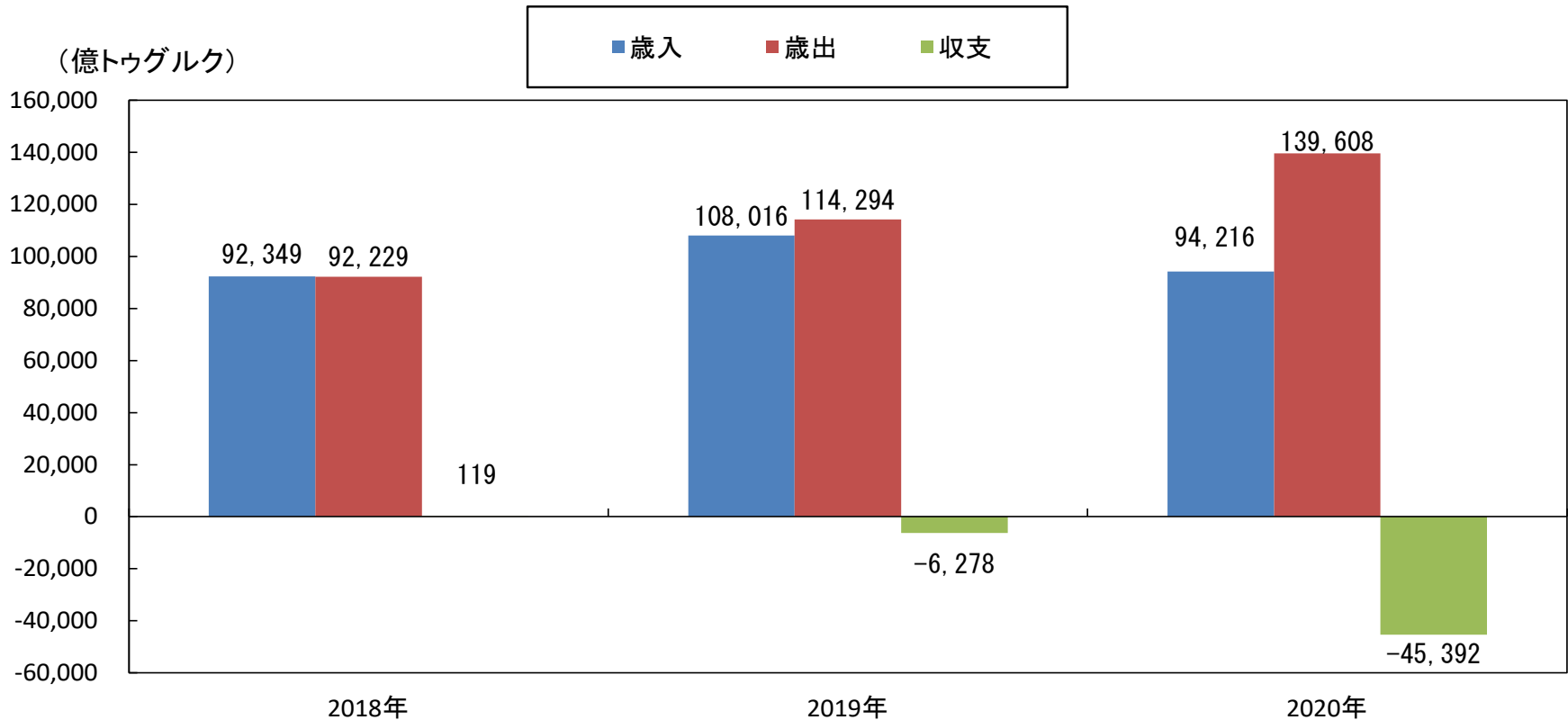


出所：国家統計局

注：2015年末を100%とする指数

# 9.歳入・歳出の推移

2020年における政府の歳入は9兆4,216億トウグルク、歳出は13兆9,608億トウグルクとなった。財政収支は、4兆5,392億トウグルクの赤字となった。

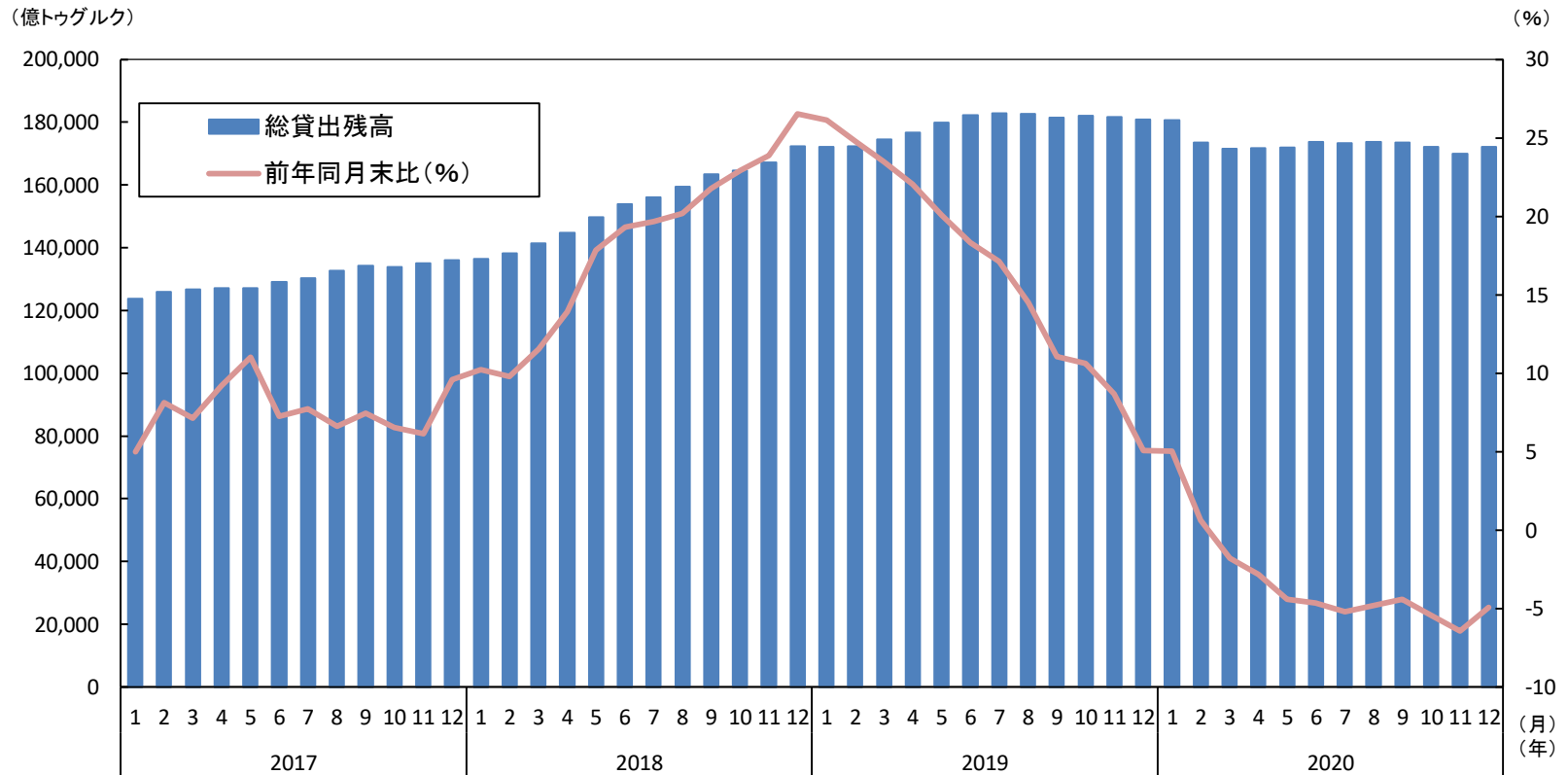


出所: 国家統計局

注: 2020年は速報値

# 10.貸出残高

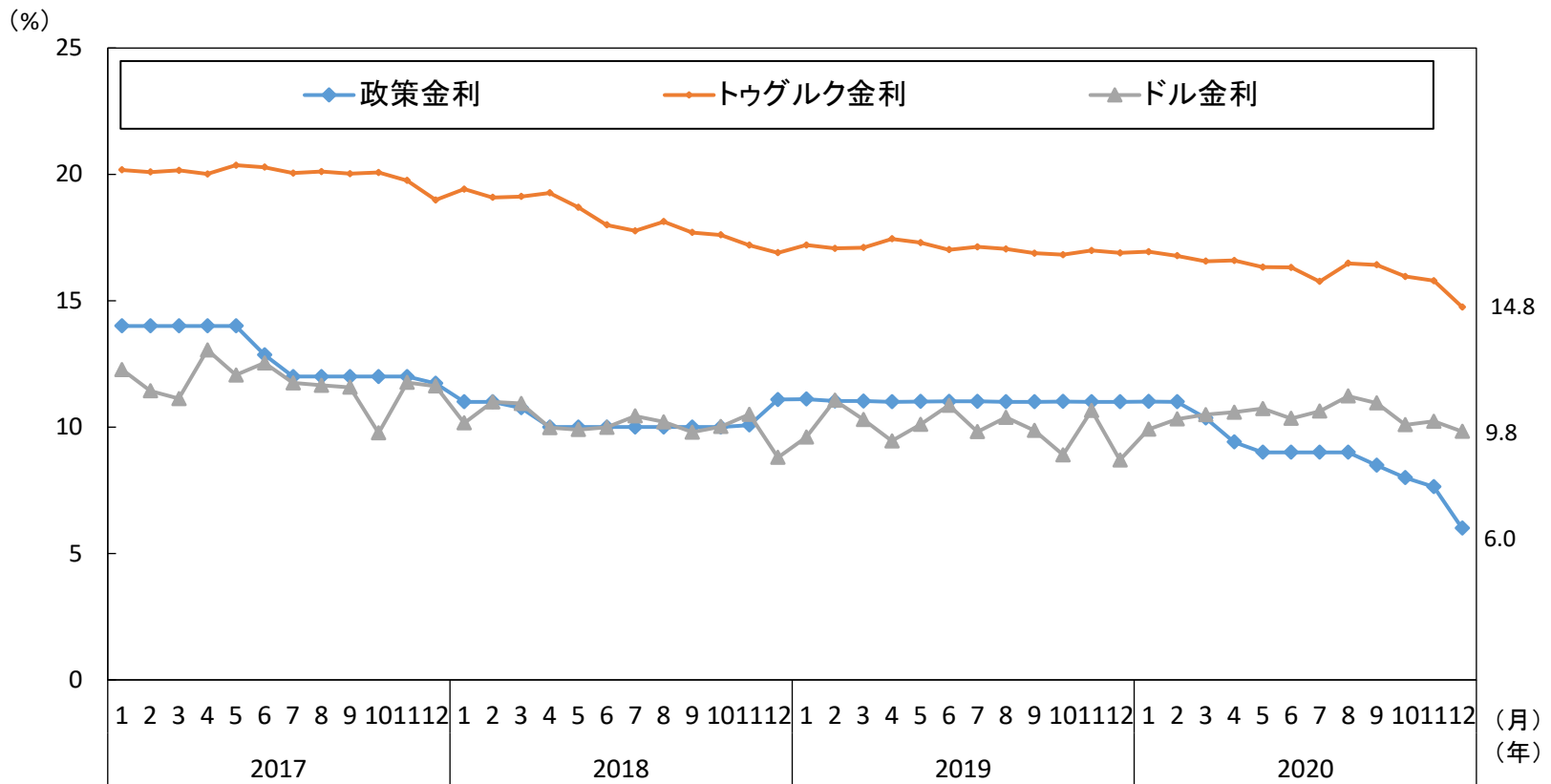
2020年12月末時点の総貸出残高は、前年同月末比4.9%減の17兆2,069億トゥグルクだった。



出所: モンゴル銀行

# 11.貸出金利

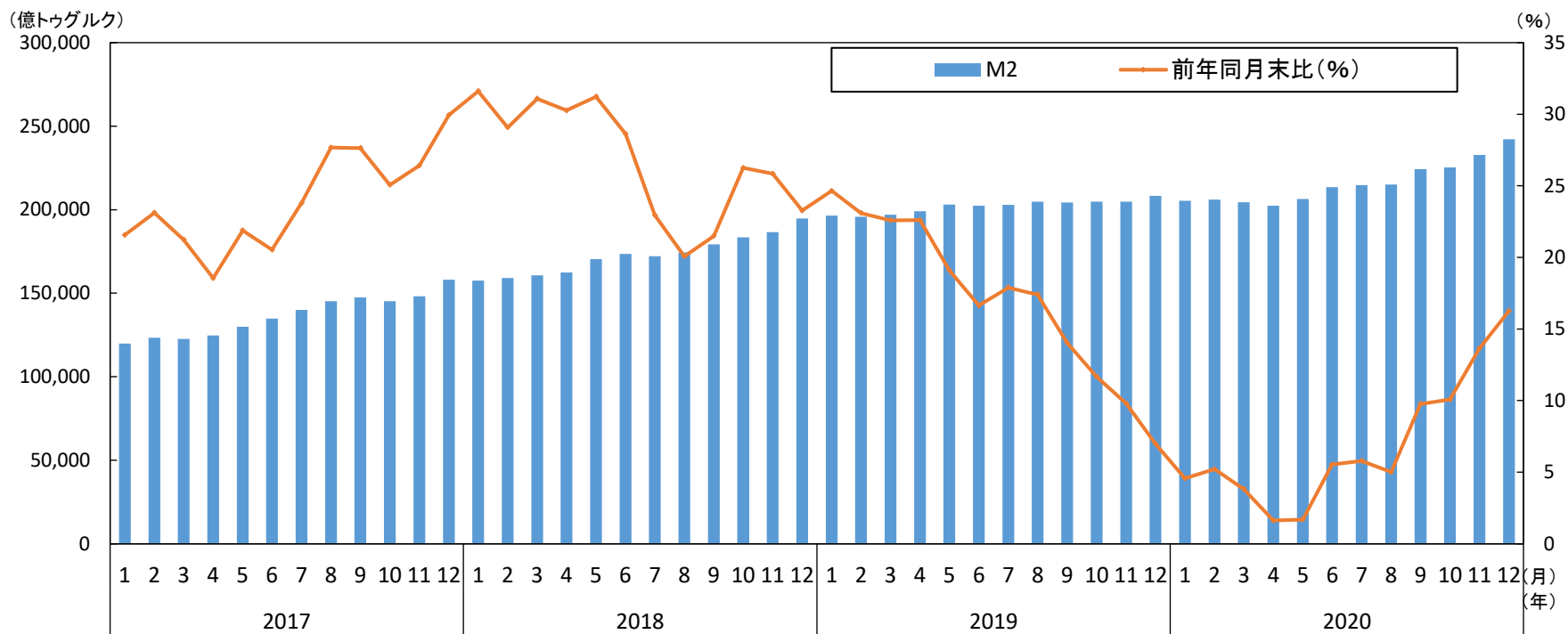
2020年12月の政策金利は、前年同月比5.0ポイント低下の年利6.0%だった。  
新規貸出金利はトゥグルクが同2.1ポイント低下の14.8%、ドルが同1.1ポイント上昇の9.8%だった。





# 12.M2の推移

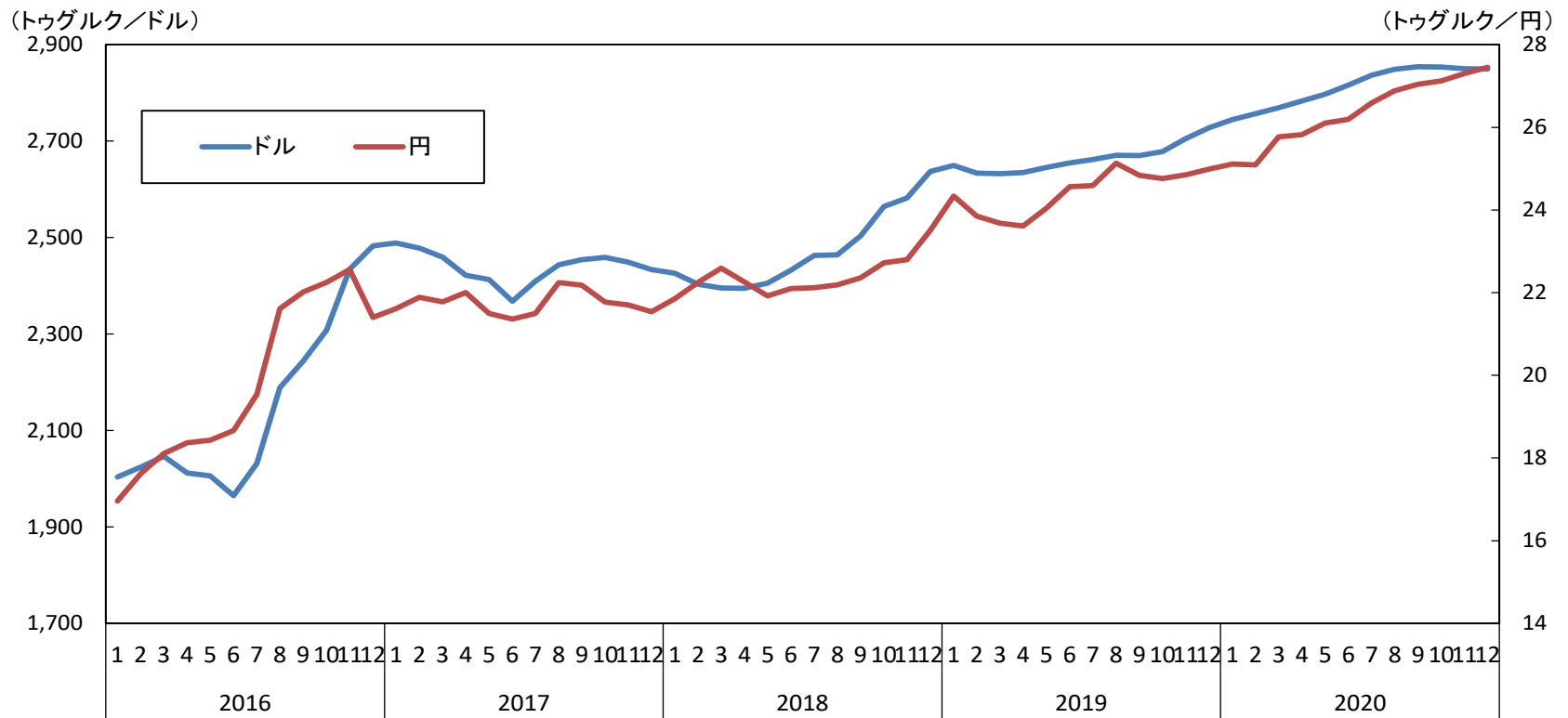
2020年12月末のマネーサプライ(M2)は、前年同月末比16.3%増の24兆2,200億トゥグルクだった。



出所: モンゴル銀行

# 13. 対ドル・対円の為替レート

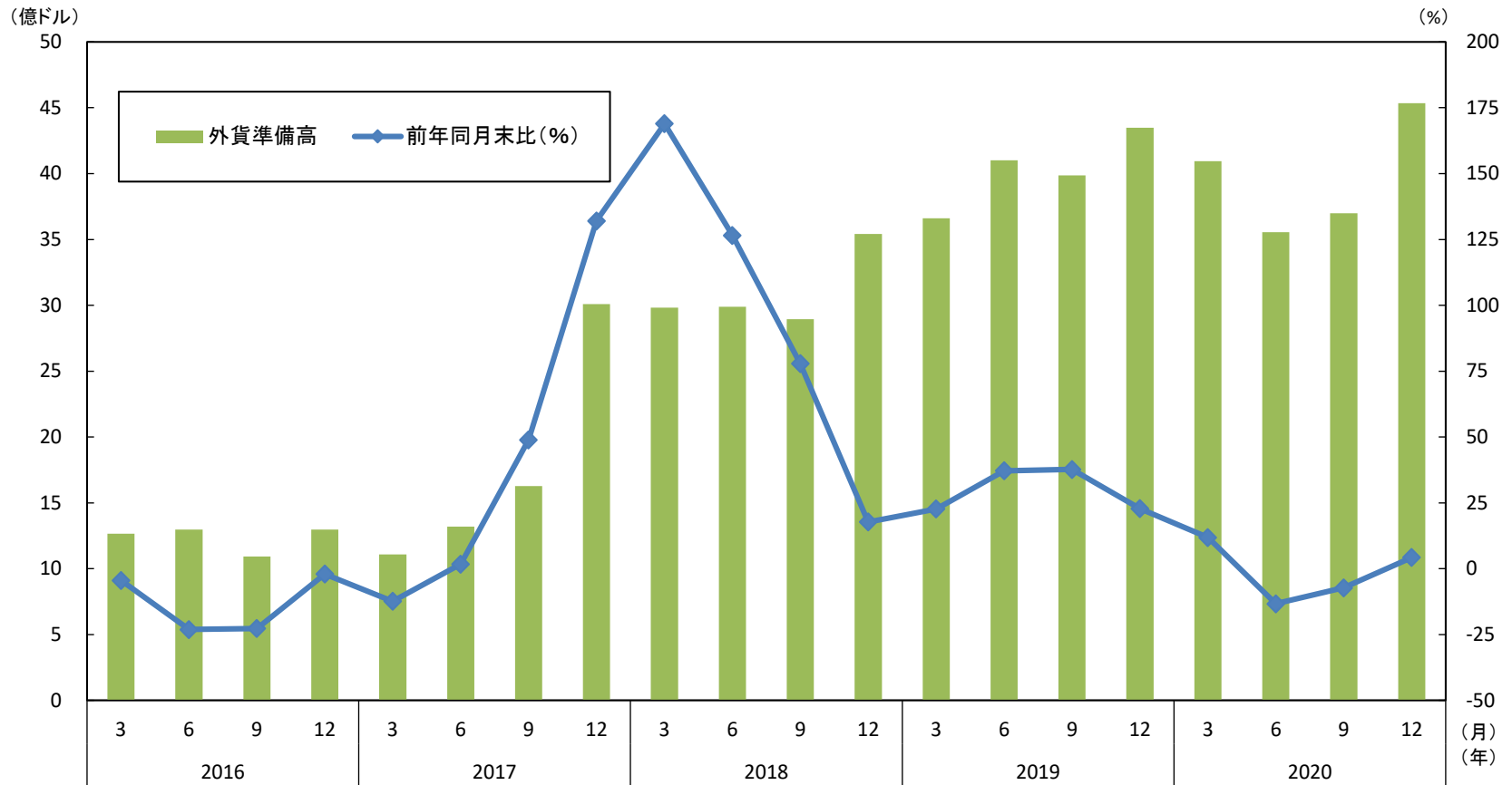
2020年12月は前月比で対円はトゥグルク高、対ドルはトゥグルク安となり、1円27.5トゥグルク、1ドル2,850トゥグルクだった。



出所: モンゴル銀行

# 14.外貨準備高

2020年12月末時点のグロス外貨準備高は、前年同月末比4.3%増の45億3,420万ドルとなった。



出所: モンゴル銀行

# 15. 主要輸出入品目

2020年の主要輸出品目のうち、石炭が前年比30.9%減、銅精鉱が1.0%減となった。  
 主要輸入品目では、ディーゼル燃料が前年比35.4%減、自動車およびその部品が27.0%減となった。

(単位:100万ドル)

品目	2018年	2019年	2020年	前年同期比(%)
輸出	7,011.8	7,619.8	7,576.3	△ 0.6
鉱物	6,070.3	6,377.6	5,255.8	△ 17.6
石炭	2,802.5	3,078.8	2,126.6	△ 30.9
銅精鉱	2,012.2	1,795.9	1,778.0	△ 1.0
卑金属およびその製品	91.8	77.9	66.6	△ 14.5
皮革および毛皮並びにこれらの製品	17.0	14.1	7.4	△ 47.5
生地およびその製品	409.8	434.7	279.5	△ 35.7
石、人造石、貴金属および宝石	145.5	419.1	1,789.9	327.1
輸入	5,874.8	6,127.4	5,293.9	△ 13.6
食料品	436.7	444.3	434.4	△ 2.2
鉱物	1,325.8	1,372.3	1,007.2	△ 26.6
ガソリン	308.7	327.4	244.7	△ 25.3
ディーゼル	576.7	669.4	432.4	△ 35.4
卑金属およびその製品	540.3	542.0	535.7	△ 1.2
自動車およびその部品	896.8	1,163.7	849.8	△ 27.0
機械器具、電気製品	1,285.7	1,240.7	1,060.6	△ 14.5

2020年は速報値

出所: 国家統計局、モンゴル税関庁

# 16.主要輸出相手国

2020年における主要輸出相手国のうち、輸出額1位の中国は前年比18.9%減、構成比は72.5%(前年比16.4ポイント低下)となった。スイスは前年比22倍と急増した。

国名	2018年		2019年		2020年		
	金額(千ドル)	構成比(%)	金額(千ドル)	構成比(%)	金額(千ドル)	伸び率(%)	構成比(%)
合計	7,011,757.8	100.0	7,619,632.9	100.0	7,576,319.5	△ 0.6	100.0
中国	6,505,529.5	92.8	6,772,775.5	88.9	5,489,956.8	△ 18.9	72.5
スイス	738.7	0.0	74,986.3	1.0	1,681,588.9	22倍	22.2
シンガポール	30,008.4	0.4	154,513.9	2.0	151,251.4	△ 2.1	2.0
英国	172,856.0	2.5	291,092.2	3.8	84,071.3	△ 71.1	1.1
ロシア	85,936.0	1.2	68,093.3	0.9	57,273.8	△ 15.9	0.8
韓国	21,200.4	0.3	27,799.0	0.4	21,421.4	△ 22.9	0.3
イタリア	54,078.1	0.8	45,298.8	0.6	19,403.4	△ 57.2	0.3
ドイツ	12,280.7	0.2	13,460.3	0.2	11,588.6	△ 13.9	0.2
米国	7,603.3	0.1	25,997.5	0.3	10,824.3	△ 58.4	0.1
日本	26,468.5	0.4	15,517.0	0.2	9,684.4	△ 37.6	0.1
フランス	5,396.6	0.1	5,056.3	0.1	5,087.7	0.6	0.1
トルコ	4,474.8	0.1	2,421.3	0.0	2,516.7	3.9	0.0
イラン	9,022.3	0.1	21,137.9	0.3	1,917.2	△ 90.9	0.0
その他	76,164.4	1.1	101,483.5	1.3	29,733.5	△ 70.7	0.4

注: 2020年は速報値  
出所: モンゴル税関庁

# 17.主要輸入相手国

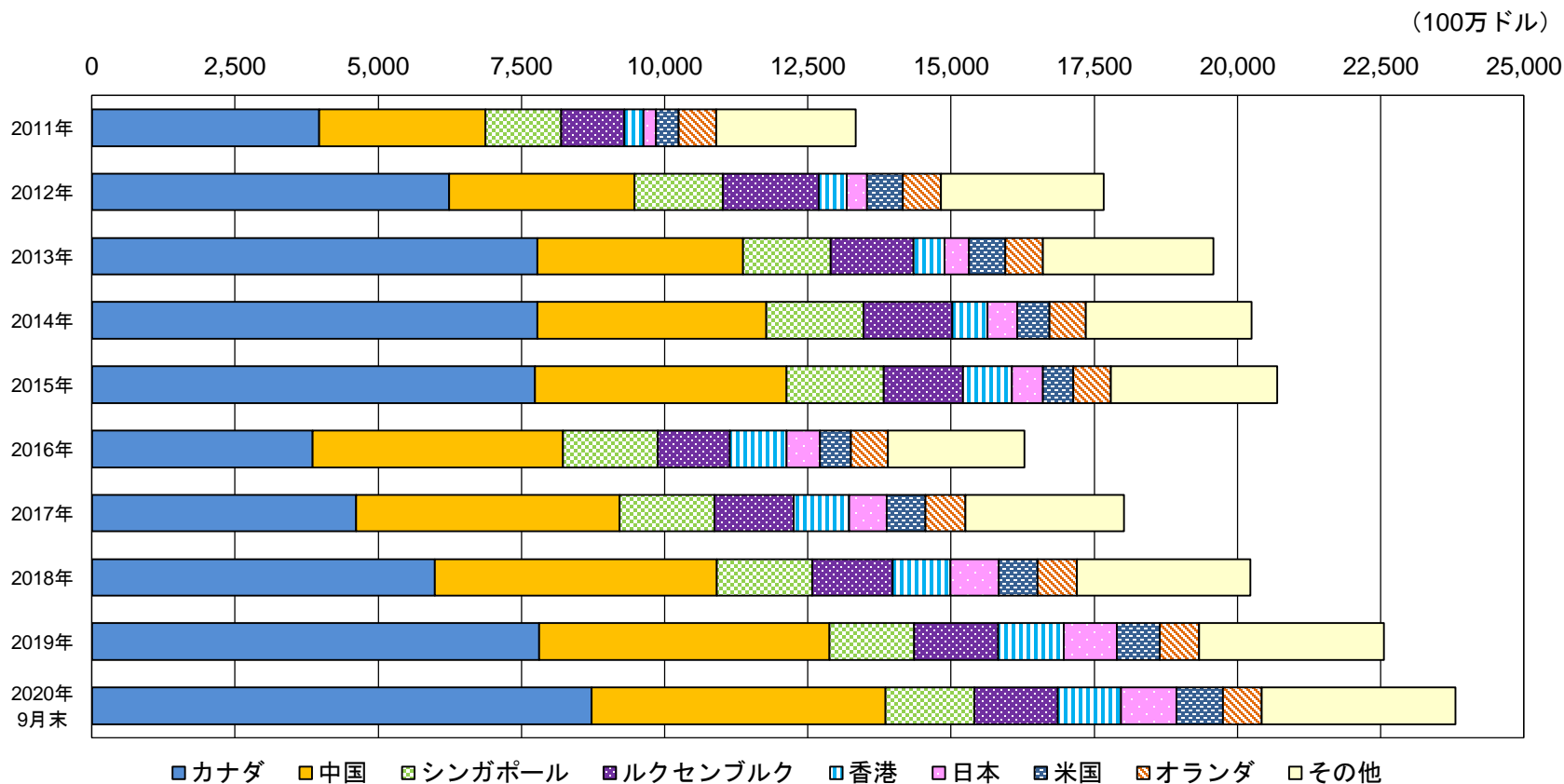
2020年における輸入総額は前年比13.6%減少した。主要輸入相手15カ国のうち、第1位の中国と第2位のロシアで約6割を占める。日本は第3位で7.7%を占めている。

国名	2018年		2019年		2020年		
	金額(千ドル)	構成比(%)	金額(千ドル)	構成比(%)	金額(千ドル)	伸び率(%)	構成比(%)
合計	5,874,803.8	100.0	6,127,516.0	100.0	5,293,939.4	△ 13.6	100.0
中国	1,968,833.6	33.5	2,036,817.1	33.2	1,892,741.9	△ 7.1	35.8
ロシア	1,710,347.3	29.1	1,729,862.7	28.2	1,399,962.3	△ 19.1	26.4
日本	561,042.3	9.5	585,478.7	9.6	406,708.2	△ 30.5	7.7
米国	211,464.2	3.6	289,571.6	4.7	245,357.2	△ 15.3	4.6
韓国	262,366.0	4.5	267,035.5	4.4	235,769.1	△ 11.7	4.5
ドイツ	168,737.1	2.9	188,885.0	3.1	184,773.9	△ 2.2	3.5
ポーランド	58,027.1	1.0	64,450.6	1.1	56,646.3	△ 12.1	1.1
ベトナム	48,951.0	0.8	56,968.7	0.9	56,052.3	△ 1.6	1.1
マレーシア	50,277.5	0.9	52,485.6	0.9	50,084.9	△ 4.6	0.9
オーストラリア	49,912.9	0.8	57,069.5	0.9	44,886.0	△ 21.3	0.8
イタリア	54,726.6	0.9	60,052.9	1.0	40,694.1	△ 32.2	0.8
スウェーデン	39,084.7	0.7	42,050.4	0.7	39,343.8	△ 6.4	0.7
トルコ	39,155.0	0.7	40,657.7	0.7	37,331.1	△ 8.2	0.7
インド	51,751.6	0.9	37,143.2	0.6	34,608.2	△ 6.8	0.7
タイ	34,440.0	0.6	37,032.7	0.6	34,206.4	△ 7.6	0.6
その他	691,033.4	11.8	696,683.4	11.4	534,773.7	△ 23.2	10.1

注：2020年は速報値  
出所：モンゴル税関庁

# 18.主要国・地域別直接投資額

2020年9月末時点の直接投資額(累計)は、238億ドルとなった。主要国・地域別ではカナダ、中国、シンガポール、ルクセンブルク、香港の5カ国・地域からの直接投資が180億ドルで全体の75.5%を占めた。



出所：モンゴル銀行

# 19.主要国・地域別投資企業数

国家開発庁によると、2020年6月現在の主要国・地域別の直接投資企業数は、合計1万4,932社。このうち、中国が7,514社で、全体の約5割を占めて最大となっている。次いで韓国(2,532社)、ロシア(903社)、日本(661社)、米国(333社)等の順となっている。

なお、外務省が実施している海外進出日系企業拠点数調査の2019年調査結果(令和元年10月1日現在)によると、進出日系企業の拠点数は428拠点であった。

# 20.主要業種別投資企業数

国家開発庁によると、2020年6月現在、主要業種別の直接投資企業数の構成は、貿易・レストランが1万148社で全体の3分の2を占める。このほか、エンジニア施設・建築材料生産(462社)、鉱業(456社)、観光(425社)、輸送(244社)、軽工業(211社)、食料品生産(209社)、農業(170社)、家畜産業の原料加工業(170社)、情報通信(132社)等となっている。

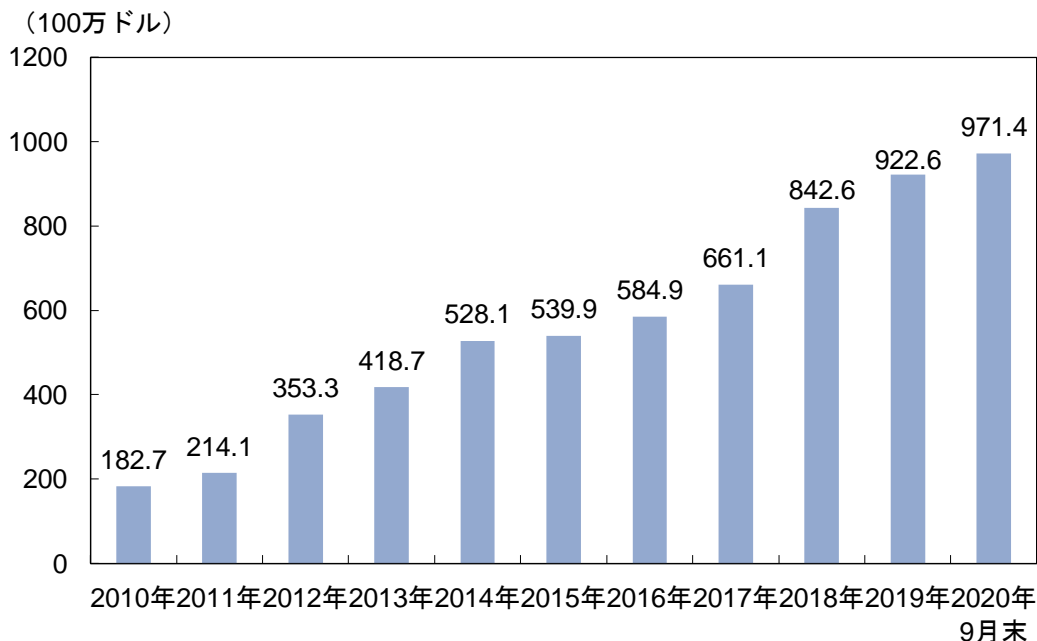


# 21.日本からの直接投資①

2020年9月末における日本からの直接投資額(累計)は、9億7,140万ドルとなった。

日本からの主要投資分野は、通信、銀行、製造、鉱業、鉱山機械・建設機械の販売、建設やエネルギーなどとなっている。

## 主要投資企業名(順不同)



出所：モンゴル銀行

大日本土木	松坂屋建材
伊藤忠商事	日本工営
鴻池組	シスメックス
丸紅	TDB Leasing
住友商事	三井住友銀行
UNIGAS	三菱UFJ銀行
三井物産	加藤運輸
MobiCom	トヨタ自動車
双日	アポロビルディングサービス
フロンティア証券	大正法律事務所
賛光精機	東横イン
三菱商事	TOYOTA SALES MONGOLIA
東海運	ウーノアクティブ
会沢高圧コンクリート	JT
HIS	摂津倉庫
岩田地崎建設	エイト森
原口総合法律事務所	電通データアーティスト
メガテック	Cominix
ユニメディア	

出所：[モンゴル日本商工会](#)

# 21.日本からの直接投資②

## 最近の日本企業進出事例

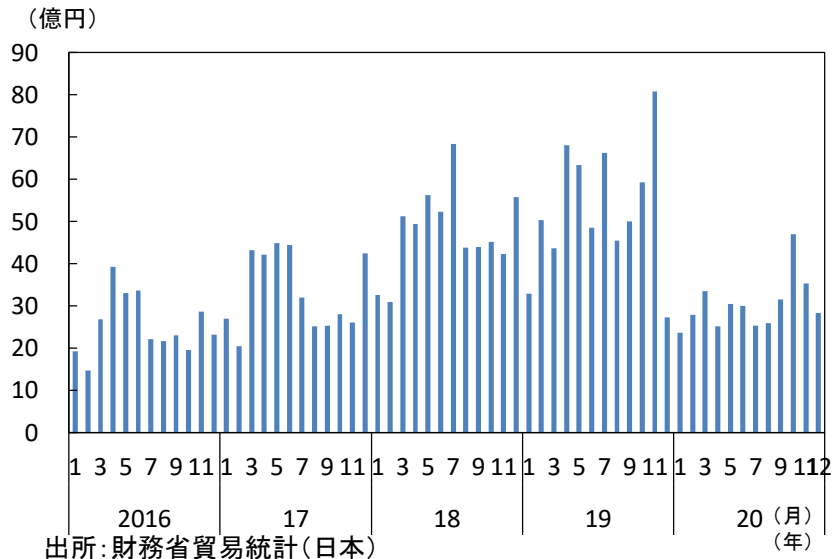
業種	企業名	事業内容
IT、AI	電通データアーティスト	AI
	Ginco	仮想通貨マイニング
教育・人材育成	ウーノ・アクティブ	公務員研修、介護士研修
	キャストリア	モバイルラーニング
再生可能エネルギー	シャープ&重光商事	ダルハン太陽光発電所10MW ザミンウッド太陽光発電所 16.5MW
	ファームドウ	モンナラン太陽光発電所12.7MW 農業、CO2クレジット取引
	SBエナジー	ツェツィー風力発電所50MW
ホテル	東横イン	ビジネスホテル
物流	摂津倉庫	倉庫業
	日本リユースシステム	リサイクル

出所：プレスリリースなどを基にジェトロ作成

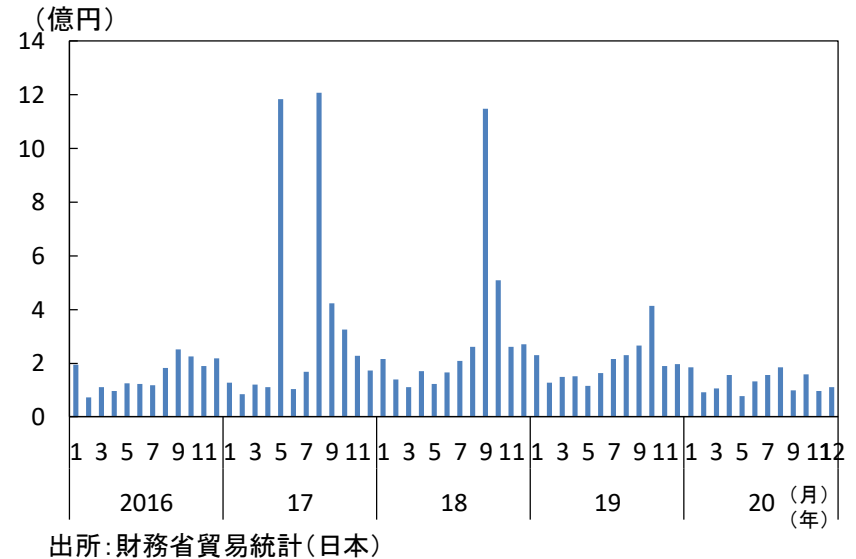
# 22. 日本との貿易概況

貿易額について日本側の統計をみると、2020年における日本の対モンゴル輸出は前年比42.8%減の364億円、日本の対モンゴル輸入は36.5%減の15億5,000万円となった。

## 日本の対モンゴル輸出



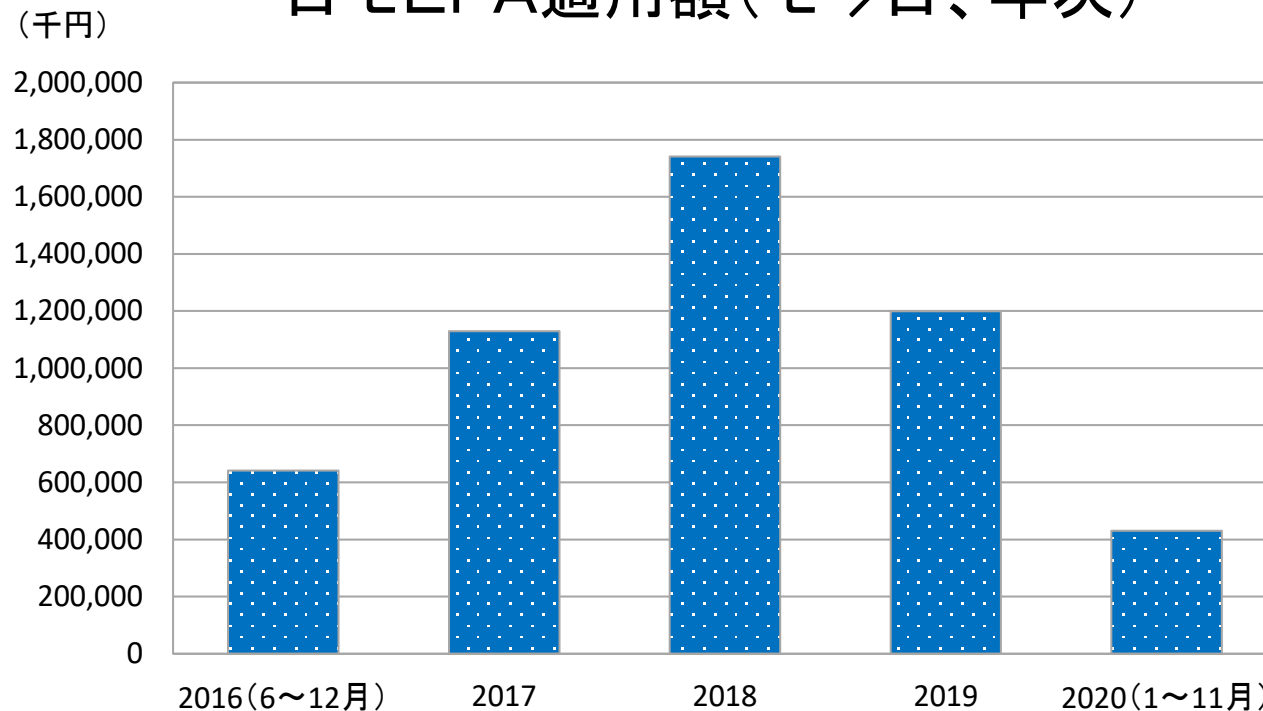
## 日本の対モンゴル輸入



# 23.日モEPAの実績①

2016年6月のEPA発効以降2018年まで、モンゴルから日本向け免税対象品目(注:銅精鉱・瀝青炭を除く)の輸出は増加した。2020年1~11月は前年同期比63.0%減少した。

## 日モEPA適用額(モ→日、年次)

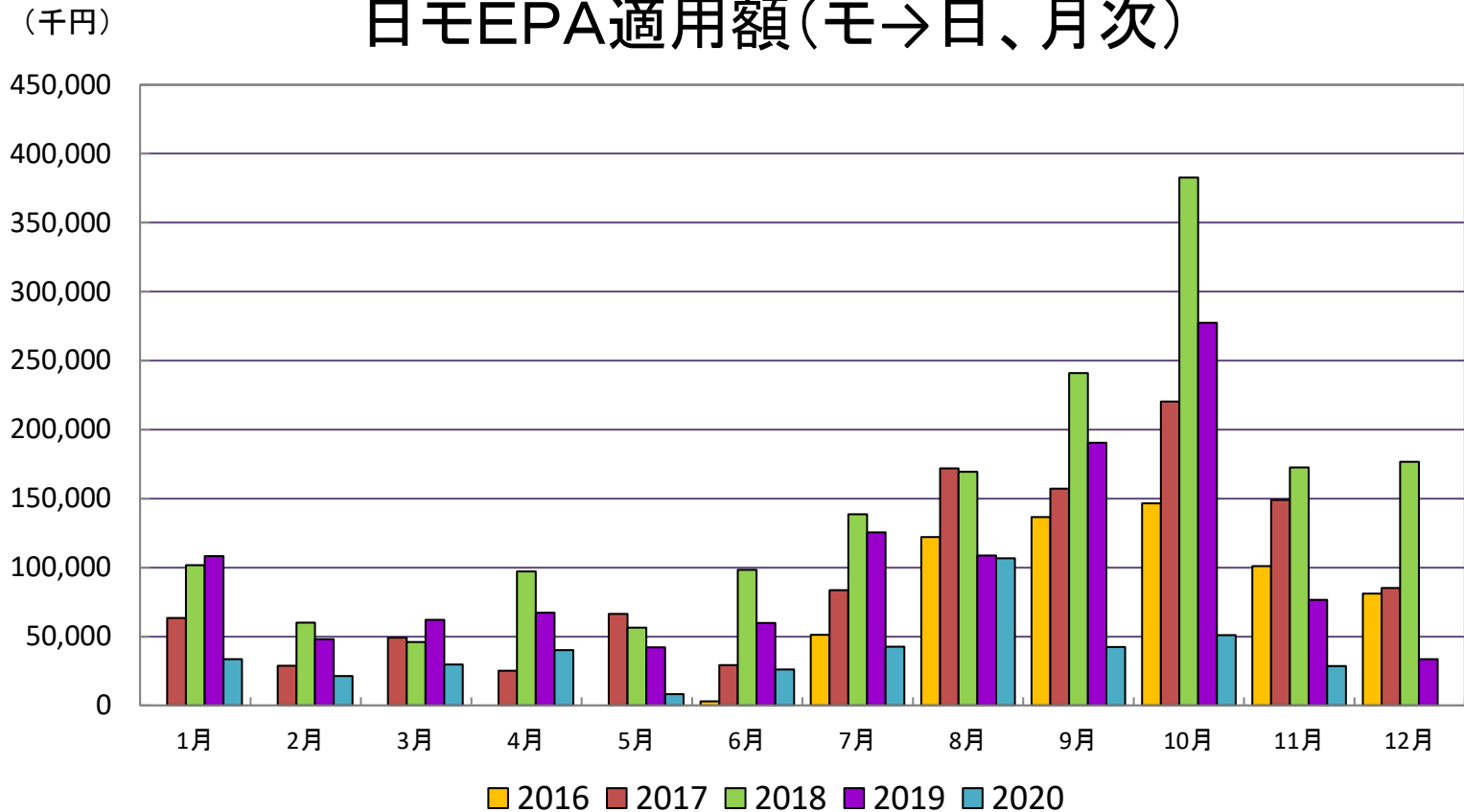


注: 2016年は6~12月、2020年は1~11月の数値。

出所: 財務省貿易統計(日本)

# 23.日モEPAの実績②

## 日モEPA適用額(モ→日、月次)



注:2016年は6~12月、2020年は1~11月の数値。

出所:財務省貿易統計(日本)

レポートをご覧いただいた後、アンケート(所要時間:約1分)にご協力ください。

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/ora2/20200032>



本レポートに関する問い合わせ先：  
日本貿易振興機構（ジェトロ）  
海外調査部 中国北アジア課

〒107-6006 東京都港区赤坂1-12-32  
TEL : 03-3582-5181  
E-mail : ORG@jetro.go.jp

**禁無断転載**